

厚生環境委員会委員協議会記録

1 会議の日時	令和 5年11月20日	開 会 午後 0時 55分 閉 会 午後 1時 29分
2 会議の場所	第3委員会室	
3 出席者	委 員	委員長 若井 敦子 副委員長 森 益基 (村下 貴夫) 川上 哲也 田中 勝士 中川 裕子 平野 恭子 牧田 秀憲 () は欠席委員
	執 行 部	別紙配席図のとおり
4 事務局職員	課長補佐兼係長 榎田 朝之 主査 古藤 綾乃	

5 会議に付した案件		
件	名	審査の結果
1	献血運動の推進について	
2	「清流の国ぎふ」文化祭2024・清流の国ぎふ総文2024について	

6 議事録(要点筆記)

○若井敦子委員長

ただいまから、厚生環境委員会委員協議会を開会する。

本日の協議会は、委員会の所管事項の調査や施策の評価の充実を図るため開催したものであり、議題は、配付した次第のとおりである。

執行部の出席者については、本日の議題を所管する部局が中心となっているのであらかじめ了承願う。

それでは、議題1「献血運動の推進について」、執行部の説明を求める。

(執行部挨拶：丹藤健康福祉部長)

(執行部説明：居波薬務水道課長)

○若井敦子委員長

ただいまの説明に対して、質疑はないか。

○牧田秀憲委員

タレントを起用した啓発活動などで献血者数の成果が上がっているということだが、中学や高校などの学校に対して、パンフレットの配布や献血会場などの案内をしているか。

○河村薬務水道課献血運動推進監

岐阜県赤十字血液センターと保健所職員が連携して県内高等学校を訪問し、学校献血の協力依頼などを行っている。また、献血が可能になる新高校2年生全員に対して啓発パンフレットを配布するとともに、特に、岐阜市近辺の高校生に対しては、岐阜献血ルームアクティブGへの案内も行っている。

○牧田秀憲委員

来年の全国大会に向け、献血実施率を高めることが重要であるとともに、献血の大切さについて学校を含め広く周知してほしい。

○田中勝士委員

献血運動推進監のポストは以前からあるのか。

○河村薬務水道課献血運動推進監

令和5年4月に新設された。

○田中勝士委員

これまで県として献血者数を増やすために継続的に実施してきた事業はあるのか。

○河村薬務水道課献血運動推進監

献血の機運を盛り上げるために、「献血感謝の集い」を開催して献血功労者への表彰を行っている。また、県赤十字血液センターと連携し、県内学校、企業、団体等を訪問し、学内及び企業内献血の推進を継続している。

○田中勝士委員

私自身、献血には長く関わってきたが、県が率先して献血者数を増やしていこうという動きをほとんど感じなかったため、このような質問をした。来年の献血運動推進大会の開催をきっかけとして、継続的に県全体の献血者数が増えていくように、また若年層の献血者を増やす仕組みづくりなど、長期的な取組をお願いしたい。

○河村薬務水道課献血運動推進監

コロナ禍もあり、近年では、学校献血の数が平成29年度の23校から令和2年度の11校まで減少していたが、若年層の献血者を増やすため、学校献血の推進をはじめとする各種取組を今後も継続していきたい。

○田中勝士委員

継続的な取組を是非お願いしたい。

○若井敦子委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって、議題1「献血運動の推進について」を終わる。

続いて、議題2「「清流の国ぎふ」文化祭2024・清流の国ぎふ総文2024について」、執行部の説明を求める。

(執行部説明：後藤文化祭推進事務局長)

○若井敦子委員長

ただいまの説明に対して、質疑はないか。

(質疑なし)

○若井敦子委員長

質疑もないようなので、これをもって、議題2「「清流の国ぎふ」文化祭2024・清流の国ぎふ総文2024について」を終わる。

以上で、本日の議題は終了したが、この際、何か意見等はないか。また、執行部の方、何かないか。

(発言する者なし)

○若井敦子委員長

意見もないようなので、これをもって本日の委員協議会を閉会する。

厚生環境委員会委員協議会配席図

令和5年11月20日

第3委員会室

